

菊水中学校男子チーム 県中体連駅伝競走大会 3位入賞

10月20日(日)、玉名市横島町で玉名荒尾中体連駅伝競走大会が開催されました。和水町から4チームが出場し、男子の部は菊水中学校が大会新記録で優勝、三加和中学校は5位、女子の部は菊水中学校が4位、三加和中学校が14位という結果でした。沿道の声援に応える力強い走りを見せてくれました。

この大会で優勝した菊水中学校男子チームは、11月12日(土)に開催された県中体連駅伝競走大会に出場し、3位入賞を果たしました。

≪玉名荒尾中体連駅伝競走大会の成績≫※敬称略

■ [男子] 優勝 菊水中学校 1時間2分49秒(大会新記録) 6区間全19.71km

出場選手 1区 隈部 映心(3年)、2区 松浦 颯汰(3年)、3区 松村 至恩(3年)
4区 平野 太陽(3年)、5区 石川 洸心(1年)、6区 石原 咲哉(3年)

区間賞(和水町関係)

[男子] 4区 三加和中学校 山下 太聖(3年)、5区 菊水中学校 石川 洸心(1年)

6区 菊水中学校 石原 咲哉(3年)

[女子] 2区 菊水中学校 坂本 葉音(3年)



玉名荒尾中体連駅伝競走大会を終えて 菊水中学校チーム(選手・先生・コーチ)

玉名圏域定住自立圏形成協定合同調印式 ～圏域の発展を目指して～

10月7日(日)、玉名市と和水町、玉東町、南関町の1市3町で形成している玉名圏域定住自立圏の合同調印式が執り行われました。

定住自立圏構想は、市町村の主体的な取り組みとして「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

当協定により、これまで「訪問販売お断りステッカー」の配布や圏域図書館の相互利用及び電子図書館の導入等の取り組みを行ってきました。令和4年度からは学校給食へ地場産品の活用やSDG sの推進等の取り組みを進めていきます。



調印式に参加した各市町長(左:高巣町長)

懐かしい思い出がよみがえる ～タイムカプセル開封式～

11月21日(日)に民家村内の野外ステージで「タイムカプセル開封式」が行われました。

タイムカプセルは、2001年(平成13年)11月3日～4日に開催された、『第14回熊本県民文化祭in荒玉の記念行事』で埋設したものです。タイムカプセルが開けられると、参加者から大きな歓声が上がリ、中からは手紙や写真などが取り出されました。20年の時を超えてよみがえった手紙を、みなさん大事に読んでいました。



掘り起こしたカプセルと一緒に記念撮影

芸術の秋! 第16回和水町文化祭

11月13日(土)から14日(日)までの2日間、三加和公民館で第16回和水町文化祭が開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、作品展示のみで開催されました。墨絵やフラワーアレンジメントなどの文化協会所属団体をはじめ、町内の保育園・認定こども園、小・中学校、介護施設や一般の人など数多くの作品が展示され、芸術・文化の秋にふさわしい文化祭になりました。

また、特別展として、玉東町の彫刻家、緒方信行先生の「金栗四三像(原型)」などの彫刻作品や町内で活動されていた秀島由己男先生の「春の城 - 扉」などの版画作品が展示され、来場者の注目を集めました。

町内、町外から、2日間で250名を超える人々が来場され、大盛況のうちに幕を閉じました。



生家にメロディが響き渡る

11月13日(日)は、日本マラソンの父、金栗四三氏の命日です。その命日の顕彰事業として、金栗四三生家にて熊本市在住のピアニスト豊田隆博氏のコンサートが開催されました。金栗氏にちなみ「炎のランナー」の演奏から始まったコンサート。「枯葉」や、秋の童謡メドレー等が演奏され、美しい音色にみなさん聞き入っていました。



演奏する豊田隆博氏(右)